

# 目次

執筆者一覧 iii

序文 v

## 第 I 編 医療安全 1

### 1 医療の現状 昭和大学 名誉教授・ひたち医療センター 病院長 安本 和正 2

1 はじめに 2 2 医療保険制度 2 3 OECDによる主要国の医療比較 4 4 まとめ 7

### 2 医療の安全性 滋慶医療科学大学院大学 学長 武田 裕 8

1 はじめに 8 2 米国の動向 9 3 日本の課題 17 4 さいごに 18

### 3 ノンテクニカルスキルからみたエラー防止とチーム医療のトレーニング法 20

滋慶医療科学大学院大学 教授 江原 一雅

1 チーム医療のためのノンテクニカルスキルとTeamSTEPPSとは一現場にどう生かすか 20  
2 WHO安全な手術ガイドラインとチェックリスト 27

### 4 心理学からみた医療安全 滋慶医療科学大学院大学 講師 岡 耕平 33

#### A ヒューマンエラーとその防止 33

1 はじめに 33 2 ヒューマンエラーをどのように捉えるか 33 3 ハインリッヒの法則とインシデントレポート 34 4 心理学からヒューマンエラーを考える 36 5 行為の背景にある心理，心理の背景にある生理 41

#### B ヒューマンエラーが事故に結びつく背景 43

1 スイスチーズモデル 43 2 何のためのエラー分類か 44 3 事件事例の分析方法 46 4 これからのヒューマンエラー対策をどのように考えていくか 48 5 実例をもとにしたヒューマンエラーの分析 49 6 おわりに 53

## C コミュニケーションのエラーとその防止 55

- 1 コミュニケーションのエラーとは何か 55 2 リスクコミュニケーションとインフォームドコンセント 58 3 コミュニケーションのエラーをどう防ぐか 58 4 おわりに 62

## 5 医療紛争への対応 滋慶医療科学大学院大学 教授 木内 淳子 64

- 1 はじめに 64 2 医療事故にあった患者の心理状態について 64 3 医療紛争におけるADRの役割 66 4 ADRと民事訴訟の相違点 66 5 日本におけるADRの状況 67 6 日本における医療ADRの状況 68 7 医療メデイエーション 68

## 6 病態による対応の実際 質の向上のために 69

### A 術中大量出血 —現状と対応— 新須磨病院 部長 中馬 理一郎 69

- 1 はじめに 69 2 大量輸血を可能とする体制の構築と麻酔科医の役割 72 3 輸液・輸血療法 72 4 大量出血に対する新しい輸血戦略 75 5 大量輸血に伴う副作用・合併症 76 6 急速輸血装置 76 7 おわりに 77

### B 挿管困難への対処 獨協医科大学越谷病院 教授 浅井 隆 79

- 1 挿管困難の何が問題か？ 79 2 現状の把握 80 3 挿管困難及び換気困難の頻度 81 4 現在の対処の問題点 81 5 気道確保法に関する術前評価 82 6 麻酔導入後の挿管，換気困難の対策 85 7 気道確保が困難であった症例における術後管理 85 8 研修，教育 86 9 結語 87

### C 周術期肺塞栓症への対応 医療法人社団 美術館北通り診療所 理事長・院長 瀬尾 憲正 89

- 1 周術期肺塞栓症とは 89 2 医療安全からみた周術期肺塞栓症の対応 91 3 おわりに 96

## 第 II 編 医療訴訟 97

### 1 医療訴訟と最高裁判例 —「裁判」とは何か？— 東北大学名誉教授(元最高裁判所判事) 藤田 宙靖 98

- 1 はじめに 98 2 「裁判」とは何か？ 98 3 「具体的な紛争の最も適正な解決」 99 4 「裁判上の和解」について 100 5 過去の最高裁判例から 101

## 2 医療訴訟の現状 104

### A 日本における医療訴訟の現状 —医療訴訟の今昔— 公証人(元東京高等裁判所部総括判事) 前田 順司 104

- 1 はじめに 104
- 2 医療訴訟における患者の思い, 医師の思い 104
- 3 従前(1998年以前)の医療訴訟の実情 106
- 4 医療訴訟の訴訟運営改善の取組 108
- 5 司法研究後の実務の体制の整備 115
- 6 最近の情勢と今後の課題 116
- 7 おわりに 118

### B 海外における医療訴訟の現状 昭和大学 教授 大嶽 浩司 119

- 1 はじめに 119
- 2 アメリカ 119
- 3 イギリス 120
- 4 ニュージーランド 121
- 5 ドイツ 122
- 6 おわりに 123

## 3 民事訴訟 弁護士(後藤・太田・立岡法律事務所) 服部 千鶴 125

- 1 仕組み 125
- 2 医療事件の特徴 125
- 3 証拠保全 129
- 4 医療訴訟の流れ 130
- 5 消滅時効 131

## 4 刑事訴訟 弁護士(後藤貞人法律事務所) 後藤 貞人 133

- 1 刑事訴訟の概略 133
- 2 医療刑事事件の特色 134
- 3 医療刑事事件の捜査と弁護 137
- 4 医療刑事事件の公判と弁護 142
- 5 むすび 143

## 5 最近の無罪判決について 弁護士(駒込たつき法律事務所) 水谷 渉 144

- 1 はじめに 144
- 2 3つの無罪事件について 144
- 3 無罪事件から学ぶ医療刑事事件の課題 146
- 4 業務上過失致死傷罪の在り方 148
- 5 おわりに 150

## 6 医師賠償責任保険の諸問題 151

### A 法律家の視点から 弁護士(小坂井法律事務所) 小坂井 久/弁護士(小林功武法律事務所) 小林 功武 151

- 1 医師賠償責任保険について 151
- 2 民事上の責任について 152
- 3 刑事上の責任について 153
- 4 賠償責任を填補するという機能がもたらす刑事事件への影響について 153

### B 医師の視点から 広島大学大学院 教授 河本 昌志 157

- 1 はじめに 157
- 2 保険商品としての医師賠償責任保険 157
- 3 勤務医賠償責任保険の諸課題 158
- 4 日本医師会医師賠償責任保険の諸課題 159
- 5 医師賠償責任保険の加入資格と要件 160

6 事故発見ベースと賠償請求ベースの処理 160 7 医業廃業後の保証 161 8 刑事事件に関する医師賠償責任保険の費用補償 161 9 弁護士費用は含まれるか 162 10 裁判外紛争解決手続と医師賠償責任保険 162 11 医師免許を持たない学生実習の課題 163 12 おわりに 163

## 7 院内事故調査委員会について 165

A 法律家の視点から 弁護士(日本橋人形町法律事務所) 大澤 一記 165

1 はじめに 165 2 医療事故とは 165 3 医療事故発生時の各種の報告 165 4 医療事故調査の法的根拠 166 5 医療事故調査の全体の流れ 167 6 事故調査の目的 168 7 委員の構成 168 8 開催日時 169 9 事実認定について 169 10 評価について 170 11 再発防止のための指針 170 12 結果の公表等 171 13 委員会の終了と再発防止策実施の検討 172 14 おわりに 172

B 医師の視点から 兵庫医科大学病院 病院長 太城 力良 173

1 歴史的背景 173 2 院内医療事故調査委員会の目的と問題 174 3 院内事故発生時の対応 174 4 第三者機関としての事故調査委員会 178 5 おわりに 179

## 8 医師法21条について 181

A 法律家の視点から 弁護士(井上法律事務所) 井上 清成 181

1 医師法21条問題の誇張 181 2 医師法21条の規定 181 3 医師法21条の構成要件 182 4 要件の混乱 182 5 残された課題 183 6 異状死体等届出の判断の実務 183 7 過失なき診療は異状にあらず 184 8 合憲限定解釈の拡がり 185 9 都立広尾病院事件の東京高裁判決 185 10 合憲限定解釈を踏まえた判断基準 186 11 診療関連死に対する届出義務 187

B 医師の視点から 帝京大学名誉教授・同附属溝口病院院長補佐 大村 昭人 188

■ 要旨 188 1 はじめに 188 2 医師法21条を取り巻く環境は混とんとして出口が見えない 189 3 医師法21条の解釈は司法の裁量で如何ようにも変えられる? 191 4 責任追及よりも原因追及: アメリカ医療現場の成果 194 5 おわりに 196

資料 医事法制研究会のあゆみ 滋賀医科大学 教授 野坂 修一 197

索引 199